友愛

発行所 友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚(941)2801
編集兼発行人 北川登
定価 1部10円

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇
友愛青年同志会

第八回全国大会終る

副会長に宮川三郎氏も就任

躍進への布陣強固に整う

第八回全国大会は風薫る五月三日、尾崎記念会館に全国都道府県二六一名の代表が参加して開催された。本大会では特に近年のめざましい国内外にわたる諸活動が集約され、北海道、九州からも大挙代表が参集するなど一段と飛躍への熱意が示された。また宮川三郎先生が新らたに副会長に就任され友愛運動拡充強化への布陣も一層強固になった。

大会は五月三日午前十時スマートに掲りつけられた会場での開会式に始まり功労賞の授与、記念講演会などあって夕刻会場を九段会館に移し、分科委討議、役部活動総合討論など新企画に熱心な討議が行われた。これらの結果は五月五日尾崎記念会館での本会議に発表され同日午前十一時半、昭和三十六年度運動方針並びに事業計画が提出会議題を可決、別掲のような大会宣言を発表してとじまりなくその幕を閉じた。

開会式　大会第一日は、まず会場入口に掲げられた〝歓迎〟のペラ・アーチに微笑しながら、「御霊祭料袋」を受けとって、登録をすませ「友愛八年のあゆみ写真展」をみて開会式にのぞむ。開会式に続き鳩山会長、川崎副会長はじめ宮川三郎名誉役員、石橋財団酒井康弥務局長今井祐申大僧正、中青協深見事務局長、近藤弁護士等多数の来賓、あるいは友好諸団体代表の顔も見え、午前十時尾形常任幹事の司会で開会された。

全員起立して青方代表鳩の後福岡支部代表鄭井博君が力強く会釈の挨拶を朗誦、興田大会準備委員長が本会八年の歩みとその輝やかしい成果を報告、今大会の意義について述べ、続いて鳩山会長が登壇、足もとをみつめ地道な活動にもとづいてのようなユーモラスなうちにも友愛の真情溢れる挨拶があった。

この後名誉役員宮川三郎先生が赤いネクタイをしめてきた由来と会員の集会祭りでもしましょうという挨拶があって万歳の拍手を浴びた。つづいて、総理府中青協深見事務局長、鈴木日本婦人友の会副会長、上野寛氷寺今井大僧正、日本青年団体国際委員会綿常任理事（日青研事務局長）ら来賓各位から祝辞や激励の言葉があり、ここで遠く海をこえて送られてきたカルギー名誉会長のメッセージが披露された。地方代表挨拶は北海道会長吉川昭君および学生部委員長田宪彦君（関東学生部委員長）の二君が立って今後の抱負と決意を述べた。

表彰状・功労賞授与

つづいて感謝状、表彰状の贈呈にうつり、まず創立以来の貢献者、指導を仰いで方々二十名に鳩山会長から感謝状と記念品が満場の拍手の中に贈られた。次いで、本会初の「功労賞」に輝く四十六名の会員に対し、ブロック別に氏名が読みあげられ、受賞者起立のうちに代表者が表彰状と功労賞の授与をうけた。（氏名別掲）併せてこの際「尾崎賞」の授与式があり、別項のように三名が受賞。

感激的な表彰式を終って全員起立のうちに「友愛の歌」の大合唱があり、二時間に及んだ開会式の幕をとじた。

記念講演会　午後の部は午後一時から記念講演会が催され、別項のように長谷川才次、高木健夫両講師の国際問題についての講演があり、有意義な感銘を与えた。

本会議開く　午後三時三十分いよいよ本会議が召集された。まず仮議長に浜木支部長山崎勝己君が選任され、資格審査委員会（委員長折戸博司）から〝代表資格者総数三百五十名、うち正式代表と認定された者一八九、追加認定した者九名任六二、総計二六一名〟と報告があり、山崎議長は大会の「成立」を宣言した。

つづいて運営委員会（委員長高橋晟憲）の報告があって之を了承大会議長には原鳩晟一君（岡崎支部長）副議長に逢田健一（日光支部長）妹尾要（西大寺支部長）両君がそれぞれ選出された。

（学生部）が終って北川登大会副委員長（兼事務局長代行）が登壇、一般会務経過報告について活動の分野毎に細かい統計数字をあげて説明を行ない。田辺経理部長の会計報告と併せてこれを了承した。

第一日　第一日は八時より分科委員会を開催し、前日来の強行軍に疲労も大きかったろうと思われたが討議は真剣に続けられ、昼食後の「支部活動総合討論」は、昼食後の「支部活動総合討論」は、昼食後の「支部活動総合討論」は

第一分科委員会は、五月三日午後七時より九段会館において開催された。第一号議案昭和三十六年度運動方針並びに事業計画について、第二号議案昭和三十六年度予算案についての二議案を付託され、奥田幹事長、田辺経理部長担当のもとに審議をおこなった。

予算八、八五二、八八七円　運動方針・事業計画決定

第一分科委員会は、神崎征治君が議長席に付き、開会に先き立って各員の自己紹介をおこなった。その後早速議事に入り第一分科委員会に付託された第一号議案、第二号議案の順序について、慣例により第二号議案昭和三十六年度予算案より先に議論することに決まり、田辺会計経理部長が説明にあたり審議に入った。

予算総額八、八五二、八八七円収入の主たるものは、会費（一七五万）特別会費（二四一万）寄附金（二一〇万）であるが、会費収入は会員数に比べて、納入見込が少く、総合的な立場から会費の検討をすべきであるとの意見がでた。支出の主たるものは、事務費（一七七万）機関紙（一四三万）事業費（一七〇万）地方対策費（五〇万）であり、特に各代表より、支部地区との連絡を密にするため、予算の配分は地方対策を優先的に考えること、組織の拡大、地方との連絡、地方での諸活動への援助を積極的にはかれとの意見がで、会財政の在り方、地方の財政の在り方については、本格的な取り組みと対策を練ることを条件として原案通り可決、特別事業の巡回映画、移動診療等は内容を検討させて実施することとして、原案通り可決した。

つづいて昭和三十六年度運動方針並びに事業計画について、奥田吉郎幹事長より趣旨説明があり審議に入った。国際情勢の分析については、カレルギ伯の平和への努力に呼応して友愛の歩みをすすめることに満場一致賛成、国内情勢の分析では曲がりかどにきた農村に対する取り組みが不充分であるので、農村対策委員会で掘り下げて追求するように要請があった。

運動方針では、一、友愛主義・民主々義の普及、二、社会教育活動の充実、三、社会福祉活動の展開四、組織活動方針　五、国際交流活動　六、婦人部活動方針、七、第二次友愛山荘建設計画等について審議、民主々義の普及については、右翼テロに対する追求、共産主義への対決を確立することが各代表より主張された。

学習活動については、適切な資料の提供をすること、地方へ講師を派遣することを本部が確約、勤労青少年教育については、大部会の中小企業青年への具体策、農村青年に対する具体策を図るよう意見が述べられ、少年指導については、身近かな所から友愛精神によって、少年を眠らせないように善導することに全員賛同した。

国際交流活動は本年もひき続いて力を入れ、特に地方代表を多数海外に出すこと、受け入れについては地元の問題を充分に組みいれるよう要望があり、東京オリンピックには、観光旅行の面でできる限り協力することを決定した。

引き続いて、事業計画の⑧胚芽末扶け合い運動⑨国際交流諸活動⑩招待外教育活動⑪移動映画巡回⑫第二次友愛山荘の設事業等について審議をおこなった。

講習会については、地方の代表が参加できるような方法を考えるとともに、講習会の性格を明確にすることが要望されている。また八月でもよいから映画を作興すべきだとの意見があり、本部にて研究することになった。友愛しおりについては、写真入りでわかり易いものを早急にだすよう強い要望があった。

才末扶け合い運動は、全国的な規模でおこなわれるその成果を集録すべきであるとの要望があった。

二日間にわたる討議は、終始建設的なうちにも、過去の反省を果たしつゝ一部字句修正を除いて、原案通り審議決定した。

第二分科委員会は、五月三日午後七時より九段会館において開催された。付託された議案は、第四号議案昭和三十六年度組織活動方針について、第六号議案大会宣言について、第八号議案地域別講習会の開催についての三議案であった。担当役員の川手組織部長、早川地方対策部長、尾形組織部次長五十嵐常任幹事出席のもとに審議し、第二次組織拡大五ヵ年計画達成のために府県連支部の結成を目指して努力することが決定された。そのため全国組織委員会の充実を図り、組織拡大のために全力を傾注する旨意見の開陳があり、今年度は飛躍的に組織が拡大されるものと期待できる。

府県連結成に努力

組織計画の達成めざして

組織部長、尾形組織部次長、早川地方対策部長がおこない、各項目別に活発な質疑応答がなされた。特に具体的な活動をおこなうには予算の裏付けが必要であるとして、本部と支部地区との連絡を密にすると同時に支部地区間の横の連絡をはかる点等についてきびしい意見が出され検討したが、結局賛同次の通りの組織活動方針が可決された。

一、組織の再検討と再編成
二、組織委員会の充実
三、一般組織工作
四、組織講習会の開催
五、重点的組織対策の実施
六、府県連の結成
七、友好団体との連絡提携
八、青少年問題関係当局との連絡
九、活動方針の徹底と地方の意見の採択
十、情報宣伝活動の強化
十一、地域、職域に対する対策
十二、中小企業青年層への働きかけ
十三、学習活動の強化

組織活動方針案の審議が長びいたため第一日目はここで打ち切り以下の各議案は翌日審議することにした。

第二日目は午前九時より再開し第六号議案の大会宣言の審議を五十嵐省橋常任幹事の説明によりおこなった。同宣言については原案の字句を一部修正して別稿の通り可決した。次に第八号議案地域別講習会の開催について、提案者である北海道支部連合会を代表して芳岡北海道支部連合会事務局長が提案理由の説明をおこない審議に入る。この議案は第一分科会に付託されている第一号議案昭和三十六年度運動方針並びに事業計画案と関連がある点から、第一分科会の提案役員である地区幹事長に特に出席を求め検討をおこなった結果、第一号議案との関連から第一分科会の決定にまかせるが、また北海道の立場を考慮し、地域別講習会開催については北海道を優先することを希望するという決議をおこない、第二分科会は全付託議案の審議を終り閉会した。

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第二次友愛山荘建設計画を発表

第三分科委員会は、五月三日午後七時より九段会館で開催された。付託議案は、第三号議案会則一部改正について、第五号議案昭和三十六年度役員選出について、第七号議案第二次友愛山荘建設計画についての三議案であった。本部担当役員の柳沢文化部長、川手組織部長（財団理事）鶴巻国際部長、宮田総務部次長出席のもとに審議した。

第一次友愛山荘建設計画が完成し、今年は第二次計画が発表され、各代表の関心を寄せ、更に会則を改正して会友制度を新設し、地方支部の強い要望に応えたことは今大会の大きな特色であったといえよう。

会友制度の新設　会則を一部改正して

第三分科委員会は保尾良君を議長に開会した。始めに出席者の自己紹介をおこない、本会議で付託された第三、第四、第五、第七号各議案の審議に移った。審議の順序については、宮田常任幹事の希望により第五、第三、第七号議案とし、これを了承し、早速第五号議案昭和三十六年度役員選出についての審議に移った。

はじめに宮田常任幹事よりミスプリントの修正についての了解を求め、次いで原案の説明がおこなわれた。主に、昨年度と異り新たに設けられた相談役と定数の増えた副会長、顧いは推薦としての常任参与、参与と常任幹事の関係について等の説明であった。これに対する質問も、説明のあった事項に対するものが多く、再度詳細にわたって次の通り説明があった。相談役の新設は参与とも関連しており従来考えられてきたように参与が純名誉職的なものではなく、常任幹事とほぼ同じ状態のもとに活動できるが、地方へオルグとして長期間にわたって行く事のできない者をもって構成するという考えにたって参与の若返りと実動的な働きを考慮したものである。従って新設の相談役は、従来考えられてきた参与の性格を有するものである。また副会長を一名から二名にするという点は、中央における種々の条件を考慮すると、会長の補佐を二名にして本会の活動分野を大きく広げる必要があると思われるので二名の提案をした。次に常任幹事を二名増員したのは、会活動の活発化に伴い、常任幹事の活動分野が増大したことによる。概略以上の説明の後、第五号議案昭和三十六年度役員選出については原案通り満場一致可決した。

続いて第三号議案会則一部改正についての審議に入った。国頭宮田常任幹事より、第五号議案の可決に伴い、第九条副会長の項に一名を二名に改正する点が つけ加えられ主旨説明の後質疑に移った。論点は会員制度に対する費、会友そのもの性格についてであった。会友制度が現実に地域によって会友制度の必要に迫まられているところもあるので、新しい制度としての会友制度は認められた。また会友の性格は会員に準ずるものであって、社会的関係、家庭の条件等の理由によって会員と全く同じ活動はできないが、友愛運動に強く共鳴している者という説明で承認された。以上によって第三号議案も第九条の改正点を加えて原案通り可決された。

右の二案を審議して第一日目の分科会を終了し、第七号議案は第二日目に審議された。

第七号議案第二次友愛山荘建設計画については、川手常任幹事（財団法人日本友愛青年協会理事）の説明の後質疑に入ったが、友愛山荘の建設は本会創立直後からおこなってきた運動であるので異論のある筈はなく、もっぱら第二次計画の進め方に論議が集中した。結論としては、第二次計画の完成をみた現在、第二次計画についても全国の同志が一つにまとまって努力しようということになり、本会議では代表者会議に第二次友愛山荘建設計画に協力するために百円募金をおこなう付帯決議をつけて第七号議案第二次友愛山荘建設計画については原案通り可決された。

以上で第三分科委員会に付託されたすべての議事を終了し休憩後議長は第三分科委員会の閉会を宣言した。

組織の強化こそ先決

本会副会長　川崎秀二

「友愛」は八年を迎え、会員は八万を超えた。鳩山一郎先生が提唱して誕生した会ではあるが、もし先生が総理、総裁という顯職にあったための個人的影響でのみ育った団体であったなら、勿論今日の盛大はない。

「友愛」の近来の発展はむしろ先生が亡くなられて、その信念、志向に憧憬し、「友愛」の持つ理念と雰囲気に共鳴を感じた青年の支持によって高まり拡げられて来たものといえる。

それにしても、何と団結、結束の固い、また気品と活気に満ちた団体であろうか。そして偏見とだわりのないというところが、友愛の最大の武器でもある。三年まえの鳩山先生の逝去のときに泣き崩れた多くの同志が、かえってフライトを燃やして組織の拡大に、国際交流に、山荘建設に着々と仕事を進めて来た成果が今日みる大なる。

それにもかかわらず、現実の事態はそのような時代使命からややもすれば逸脱する傾向にある。

友愛の全国大会で日本青年団体としての繁栄を享受しつつ、後進国の開発に協力し、思想と階級の対立を緩和し、憎悪と粗雑の代りに友愛と寛容の精神を充ち溢れしめるように進めねばならない時代である。

奥田幹事長が「今年は躍進の年である」と言明したそのあとで、鳩山顧問長は「躍進は良いが、国際交流だけが使命のように感違いしてはいけない。大地に足をつけた組織の強化こそ先決である」といわれた。

尾崎記念会館の第八回全国大会での鳩山会長は綿々として感慨無量であった。

私はこの発言を驟打たれる思いで聞いた。同志の諸君よ、ここ三年の御無沙汰を謝しつつ今年は組織強化のお手伝いをしよう。強固に大地の奥深く根を張った組織の拡充こそ、友愛発展の根幹である。

昨年度本会は海外派遣に力を注いだので、質疑の結果も運動方針では海外派遣が大きく扱われている。また、事業計画では組織を拡大する上に欠くことのできない友愛思想を各個人が強固なものにするため、講習会等の開催が中心であるようだ。

政団だより

第三回理事会開く……昭和三十六年度事業計画並びに予算案等審議のため、財団法人日本友愛青年協会理事会は四月二十六日午後一時より尾崎記念会館第三会議室で開かれた。議案はほぼ原案どおり決定されたが主なものは、札幌、浦和代表の友愛山荘の建設を含む第二次建設計画の決定、全員の再任なども、昭和三十六年度の予算総額は二、一一七、〇〇〇円となった。これには友愛青年同志会の共催事業がかなり含まれている。

田中顧問等帰国……友愛欧州歴訪視察団としてヨーロッパ諸国を訪問中であった田中耕弥顧問（賛助員）、柳沢漫評議員（同団長）らは五月十日予定通り空路帰国した。

支部活動報告並びに綜合討議

今大会の特色として地方支部から注目されていた〝支部活動報告並びに綜合討議〟は非常に好評であった。

五つのパートに分かれて、各支部が直面する種々の具体的な問題について、細部にわたっての検討を加えたことは、本会の今後の活動に必ず益することであろう。

本紙ではその概略を発表するに止めるが、別の機会では、この問題だけをとりあげより以上に検討し発表する予定である。（編集局）

学習活動について

学習活動（学習活動の実施方法について）に関する綜合討議は、九段会館二五一号室において、五月四日午後一時より開催された。他の分科へ、参加者がかなりたため、十八名の小人数であったが和かな雰囲気ですすめられた担当は奥田吉郎幹事長があたり、書記村田正然君があたった。

綜合討議の意見をまとめてみると

学習活動の資料

機関紙（誌）友愛情報、本部通知

指針、国際委、ニュース、尾崎講演集、必読図書、その他

学習活動

❶中央講習会への出席と報告会

❷ブロック県別研修会への参加

❸中央よりの講師、本部員派遣

❹支部別研究会の開催

❺他の講演会、講習会に参加、支部での学習活動の方法

1、ひとつの問題を決めて、各自が研究し、報告者が特に研究をして発表をする。

2、討論をいくつかの方法で行ない勝敗でなくて、問題の理解と把握に役立たせる、討論のやり方については各種の方法がある。

3、地元の講師、本部員、中央講習会への参加者を中心にして、話しをきき問題をつかむ。

4、各自に報告書（作文）を書いてもらい問題意識をやしなう。

5、本部からの資料についての研究会をもち、その正しい把握とそれに対する意見を提出する。

6、読書会をもち感想をのべる等他に本部の資料、指針はできるだけ多く、しかも解り易いものにして欲しいとの要望があった。

組織活動について

組織活動についての綜合討議は吾妻発言（福島県猪苗代支部）司会のもとに組織活動に対する地方報告を中心に審議した。

支部・地区からの本部に対する意見、支部・地区間の横の連絡等について活発な意見が展開されたが、その中で特に、組織活動は経済的に利用されやすいので、本部よりオルグを派遣し組織連絡をおこなうと同時にこれらの面で指導してもらいたい、また俯瞰宣伝活動を今までより以上に活発にする必要がある。その際に友愛理論をわかり易く解説したパンフレットを送付すること、地方における活動を活発にするために現在の会費制度を再検討してみる必要があるのではないか、支部・地区の横の連絡を密にするために本部は綿棉に対策を樹てるべき等の意見が出され、本部もこれらの意見を重視し、具体的な対策を樹てることを約束した。なお、綜合討議は地方の要望を踏まえ話し合いをおこなうものであるため、楽しい雰囲気の中にも活気があふれたものがあり、建設的な意見が多く出され、今後の友愛運動を推進する上において大いに意義があった。午後五時過ぎ予定を終了し閉会した。

社会教育活動について

社会教育活動についての綜合討議は七名の出席者で開会され、まず大西厳治君（岩手県）を座長に選びなごやかな雰囲気で会が進められた。

まず取り上げられたのは部落民の問題でやった。これは大阪浜木支部の一代表者（特に名を秘す）から、体験を通じて部落民開放運動の難しさが述べられた。この問題は早急に解決することが望ましいけれども、過去幾世紀にわたる偏見感情なのでなかなか簡単には解決できない。長期間にわたって友愛精神にもとずき一歩一歩着実にしなければならないであろうし、また、農村の都市化に伴っても、ある程度解決されるのではないかということで話を終った。

次に北海道の芳岡喜子さんから実際におこなった社会福祉活動について意見が述べられ、まだまだ福祉施設の不充分であること、特に身体障害者施設の充実と教育、精神面の支えを強力にしなければならないと指摘された。この点については、出席者全員同感であり青少年の不良化問題も併せ考え、本部と地方支部が一体となってより以上の運動を展開すべきであるとして論を閉じた。

国際・文化活動について

国際文化活動についての綜合討議は、本部担当鶴巻寛雄常任幹事、柳沢定勝常任幹事出席のもとに、瀬見和員君を座長に、飯塚祥太郎君（学生部）を書記にして開会した。

国際交流の問題については、現在までのようにして海外へ行ったかという点の説明があった。（イ）日本青年団体団体国際委員会を通じた場合（ロ）招待された場合（ハ）政府派遣の場合などである。

今後は世界と等しく交流すべきであるが、本会としては特に東南アジアを中心に考えたらよいのではないかという意見であった。海外交流は、現在まで親善の目的で出掛ける場合が多かったが、これを経常的な面での交流をするよう努力すべきであり、インド、マラヤなどにおいては年度からとの問題の要望が来ていると発表された。また、海外青年の受け入れ問題については、中京地区、大阪浜木支部などにおいては充分体制を整えているので、本会としても各支部に直接受け入れの要請をしてほしいとの意見が出された。その他海外青年と交流する場合、完全な言葉であることが望ましいが必ずしもそれを要求しない。また近い将来船を仕立て海外旅行をする構想が語られ、海外旅行ということがなお一層身近なものとして感じられた。最後に昨年ソ連へ渡った山崎勝己君（大阪浜木支部）のスライドを写し和やかなうちに会を閉じた。

事務運営について

事務運営（事務運営と財政問題について）に関する討議は、座長に丸山道喜（朝日地区）を選び、宮田清常任幹事担当によって開催された。問題が各支部の活動に直接関係をもつ事務運営と財政問題であったため、参加者も多く、特に支部にあって事務的な問題を処理する立場にある代表は大部分この討議に参加していた。

討議の内容は、非常に具体的なものになり、従来の事務上の不適切な点が個々に指摘された

1、郵便物は北海道九州の場合一～三週間遅かり、その他の場合も相当の時間を必要とするのでその点も含んでおいてほしい。

2、名簿の整備を改めてやってもらいたい。

3、組織一覧表には事務局長名を加えてもらいたい。

4、機関紙〝友愛〟に支部活動の状況をもっと大きく扱ってもらいたい。

5、支部の財政問題は、地域によって条件が異なるのでもっとも適した方法を考慮した。

その他細部にわたっての検討が加えられ、特に財政問題については各支部の財政方針の報告があった。

講師　長谷川才次

時事通信社社長　長谷川才次先生

人間は明日の自分自身をも把握できない状態にある。まして、要転きわまりない国際情勢を予想することは非常に困難であり、危険であるが、日本外交の基調、国際関係の基調を考慮する場合において必ず国際情勢の分析が必要であり、そしてそれに基づく展望が要求される。世界は宇宙時代に入り、普通の常識ではとうてい解決は考えられなくなって来た。これからは共産主義、自由主義両陣営の平和的共存の時代であり、人類は武力をさけ、競争の中心が次第に経済問題、文化面に移りつつある。日本もこのような世界の動きを客観的にとらえ外交の基本方針及び国際関係の基礎を固め、アジアの繁栄、世界の平和に貢献しなければならない。

講師　高木健夫

読売新聞論説委員　高木健夫先生

中国問題は、中国内部の問題であるという傲慢を過去国際的な大問題となってきた。今秋の国連総会においてもおそらく活発な議論が展開されるであろう。中国問題のむずかしさは台湾問題にある。台湾の地位を如何なるものにするか、これは非常にむずかしい問題であり一朝一夕には結論のだせるものではない。我が国は特に中国とは経済的にみても、文化的にみても、特殊な関係があることは歴史の示すところである。日中両国は政治体制は違っていても、共存共栄の立場から、二千年の文化の交流というお互にアジア民族としてともに生きる道はあろうと思う。日中問題の解決は、わが国にとって最も重要な問題であり、世界平和のためにも必要なことである。

祝賀と謝恩の集い

友愛山荘建設記念パーティー開く

財団法人日本友愛青年協会は、第八回友愛青年同志会全国大会並びに友愛山荘第一次建設計画完成を記念して、五月五日、崎記念会館に関係者百余名を招待し、盛大な祝賀パーティーを催した。

野見明麓今井柏中師、日本婦人友

端午の節句の日にふさわしく、雲ひとつなく晴れ渡ったこの日、会場は友愛青年同志会全国大会を終えた代表をはじめ、支援団体、賛助関係者多数の美顔がみえ、午後一時開会された。

まず鶴田亜理事長より、尾道・軽井沢両友愛山荘が堂々たるユースホステルとして完成をみたのはひとえに、関係者の皆様方の御協力の恩恵であると感謝の挨拶があった。つづいて、川崎会長の音頭で山荘完成の万歳三唱、祝賀の感謝が捧げた。

ここでプリヂストンタイヤ株式会社、石橋財団酒井事務局長、B・S工バーソフト販売上原専務、上野見明麓今井柏中師、日本婦人友の会理事長公孫副会長、長野県峠井沢町佐藤町長、設計者川村優正氏、文部省社会教育課日高事務官、京成電鉄総務部長、鹿鹿公海漁業など来賓、関係各位からそれぞれ祝辞が述べられた。

パーティは、マラヤから帰国早々の鹿島建設部長（財団評議員）司会のもとに、友愛青年同志会東京都支部連合会々員の余興が花を添え、コーラスや寸劇に爆笑が湧いた。関西学生部は友愛山荘仕込みのゲームを披露して拍手を浴び、最後に漫談家岩本盛四氏の真に迫った物真似と話術が会場をよめかせて午後四時、盛大な拍手のうちになごやかな記念パーティーを終えた。

写真はパーティーで挨拶する会長

栄養教室 ①

夏に備えて

暑い夏に備えて暑さと湿気のために食欲はたいへんなものです。

一、熱量のバランスについて

食欲のない夏には冷菓、魚の塩焼、天ぷら、カレー炒飯、野菜サラダなどを適宜に流しこむようにしてください。

二、たん白のとり方

夏は熱量源としての余分のたん白はいりませんので、必要な量を充たせば良いのです。動物類を少くしただけ蛋白の量も減りますからそれに代るたん白を良質の豆腐、卵、豆類などに求めましょう。

三、ビタミン類の多い食物をとりましょう。

新陳代謝のはげしい夏にはとくにビタミン類とB中でもB1とC群の分量を増してうめ合せします。

補給が大切です。

穀類の中では米がB1の普通搗精量の75%もしめているのですが洗米のときよほど注意しないとほとんど水に流れてしまいます。

大豆には沢山の B1が含まれていますが豆腐、豆乳、豆類などにはほとんど含まれていませんから調理をする時には注意しましょう

さつまいも――特に黄味がかったものはビタミンAが沢山あります

緑の野菜が少くなる夏には、Aが不足しがちですが、カボチャ、人参、ピーマン、紫唐辛子で補いCは漫柑に出まわるトマトや胡瓜で補いましょう。

（担当　油野・川久保）

祝第八回友愛青年同志会全国大会

BSエバーソフト販売株式会社
プリンス自動車販売株式会社
北海道炭礦汽船株式会社
丸美百貨店
常磐石炭株式会社
千代田亜鉛株式会社
鹿島建設株式会社
富士製鉄株式会社
丸善石油株式会社
日本婦人友の会
第一証券株式会社
ミカド珈琲商会
岡三証券株式会社
東栄電設株式会社
文京友愛婦人会
中部観光株式会社
八幡製鉄株式会社
長瀬ゴム工業株式会社
ブリヂストンタイヤ株式会社
財団法人 尾崎行雄記念財団

福島県連結成される

山荘建設予定地猪苗代で

組織委員会の構想による、県連結成を中心とした組織の確立と呼応して、福島県連は四月十六日猪苗代町公民館において県下の各代表を集め組織式をあげた。

結成大会は、準備委員長清水文夫（猪苗代）の経過報告に始まり本部代表長田吉郎幹事長の挨拶、会活動について早川広中幹事の説明、来賓として県会議員小林七之助氏他各氏の挨拶等があこなわれた。つづいて議事に入り、議長に喜連香蘭（会津若松）副議長に鈴木武夢治（福川）を決定、規約審議、活動方針、役員選出を行い左記のように決議した。

一、活動方針
世界平和の確成
友愛風潮の普及
組織の拡大
友愛山荘の建設
社会福祉の実現
新生活運動の推進

二、新役員
会長　清水　文夫（猪苗代）
副会長　喜連　充（若　松）
〃　中沢　剛（若　松）
事務局長　菅野保男（猪苗代）
会計　大川原庄吾（〃）
会計監査　鈴木武夢治（福　川）
〃　星　徳子（田　島）
〃　小池　勝蔵（高　田）
〃　武藤　敏治（福　島）
〃　越智　一夫（北会津）
〃　星　健夫（猪苗代）
〃　大竹　寿夫（及　川）
〃　菊地　文夫（若　松）
〃　金沢　一夫（日和田）
〃　大桃　博（伊　南）
〃　星　昭成（会津坂下）

三、県連事務所
猪苗代町本町一四

第二次友愛山荘建設計画地に猪苗代が選ばれた現在、それを実現するためにも県連の結成は意義が深いことだ。県連はその関係で、猪苗代が中心となっているが、将来は県下全体に及ばしていくつもりである。

当面の目標は、山荘建設にあるので全国の同志諸君の絶大なる応援を望んで止まない。

中国ブロック中堅会議開催

本会山口支部で去る四月二三～二四日の三日間、秋芳台青少年宿泊訓練所（山口県秋芳町）において開催された中国ブロック中堅青年指導者課成会に四名が参加した。

同課成会は、日本青年会主催、山口県教育庁後援によるものであるが、九州、山陰各地からも各種青年団体の参加があり、内容的に充実したものであった。

講義内容は山口大学教授の〝青年のあり方について〟〝国際情勢と日本経済について〟等の講演の後、分科会にわかれて、青年運動の進め方とか、組織作りについて細部にわたっての討議に入った。

この課成会を通じて、従来県下で提案されていた各種青年団体連絡協議会の設立が、更に具現実現を図るべきであるとの意思を、各団体とも強く感じたようである。

九州ブロック会議を開く

九州ブロック代表者会議は矢野秀敏組織常任委員の提唱で五月二日午後八時より九段会館の九州代表宿舎で開かれ全国大会出席の九州地ブロックの各代表が出席し九州地方の当面の問題を話し合い次の事項を決定した。

(1) 各県の組織点検と確認。
(2) 福岡県支部連合会の結成（七月九日の予定）
(3) 九州ブロック会議の第一回会合を七月九日の福岡県連結成大会後に開く。
(4) 福岡県支部連合会の結成及び九州ブロック会議を成功させるために、矢野秀敏、丸山運両君を中心に積極的な活動を展開する。

青振友愛山荘　ユース・ホステルに指定される

福岡県青振友愛山荘が真武信孝理事長の努力で完成をし、既に多くの青少年の利用があったことは知られているところであるが、このたび同山荘が、日本ユース・ホステル協会（会長南条徳男）の契約ホステルになった。これによって青振友愛山荘は、ユース・ホステルとして国際運動に従って管理運営されるわけである。

近藤相談役スイスへ

本会組織部近藤春雄氏（厚生活運動協会広報部長）は、来たる五月十八日午前九時三十分羽田発のエアー・フランスでスイスへ行くことになった。

今回渡欧の目的は、スイスで開催される世界テレビジョン・シンポジウムおよび国際マス・コミュニケーション第二回総会出席のためであるが、その他にヨーロッパ各国を歴訪し、青少年問題、都市の環境美化、公衆道徳等一連の課題について研究調査をすることになっている。帰国は六月下旬の予定。

第1回常任幹事会

専門部長など決める

昭和三十六年度第一回常任幹事会は、五月十日午後六時から本部事務室で開かれ、奥田幹事長の挨拶、各常任幹事の挨拶および自己紹介の後、大会決定事項の取扱いなど八議題を審議決定した。

このうち主なものは、青少年団体・青少年関係団体懇談会（文部省）青少年関係団体懇談会（中青協）への取組みと提出議題、昭和三十六年度青年海外派遣、会活動の運営と今後の具体的方針、各専門部長、特別委員会委員長の決定などであった。

専門部長などの人事は別項のように決定し、昭和三十六年度の陣容は一段と強化された。

第九回幹事会開かる

第八回全国大会に臨むに際して

第九回幹事会は、五月二日午後四時から九段会館において折戸博司君（富山県）を議長に選出された。

始めに奥田幹事長から挨拶があり、次いで富田靖常任幹事（総務部次長）から一般会務報告がされた。その後第八回全国大会に臨むに際しての幹事会の態度を決定し会議を終了した。

感激もあらたに

受賞者決意語る

初の表彰状と功労賞を受けた会員はそれぞれ本会発展の礎をきづいた古い同志であるが、その感激を次のように語っている。

真武信孝君（福岡支部）談　功労らしいことは取り立てないのにむしろ恐しい思いです。これからは大いに努力せようという意向だと思い、その期待に応える決意を固めて恐縮しました。背振友愛山荘を中心に二段会組織の拡充にも努力するつもりです。

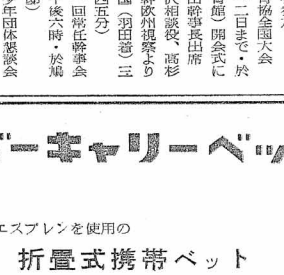
土井昭道君（岡山・児島支部長）談　多年の労苦が認められて嬉しく思っています。受賞は児島支部の全会員に贈られたもので、支部の同志に喜びを分け合ってくれると思います。岡山県連をも年内に全国一の県連にしたいものと張り切っています。

吉川昭市君（北海道連合会）談　念願の道連結成を果し、また選ばれてマラヤへ派遣されるなど実りの多い年でしたが、功労賞はもっと若手の第一線で苦労している人達にやって欲しかった。強い札幌友愛山荘の建設も目途がついたので、今年は大いに活躍して受賞の面目を果したい。

岡山県児島支部で優秀子供会を表彰

去る五月五日午後一時三十分より、岡山県児島市味里小学校において、同市教育委員会主催のもとに、子供の日記念式が挙行されたその席上、市教育委員会の要請により、本会児島支部（支部長・土井昭道）では、優秀な子供会の指導者に対して、表彰状と記念品を贈り、その功績をたたえた。なお、当日参加したのは、市内三六団体、二一〇人であった。

児島支部では、昨年の五月五日にも市内の優秀な子供会を表彰しており、今年は、それに引き続いての行事であり、同支部の子供会へ対する愛情がうかがい知れる。



表彰状を受与する土井児島支部長

大会トピックス

◇大会会場の正面玄関に美しく飾られたバラのアーチがあった。実はこのアーチ、鳩山会長邸の庭にあるものと同型で、その縮小版。代表はもちろん来賓の方々も「ホホーッ」と感じた様子であった。

◇渡辺大会事務局長の故郷で感激の拍手の嵐。

これは準備委員会のスタッフが徹夜見つけてきたものであるが、奇しくも会長始め各来賓の胸を飾った勲章も、バラの花で、第八回大会は花咲く〝バラ大会〟となった。

◇副会長に就任された宮川さん、閉会式の挨拶で〝感謝状をくれるというから挨拶やってきた。若い人の会が頭がどこの頭光っていて床屋に用がないので、せめてネクタイでもと思って一番若々しいこの真赤なのをしてきたんだ〟と笑わせてその後〝感謝状をくれるというのは実はもっと感謝される働きをしろということだろうから、これからせいぜい集金係りでもしたい〟という発言に期せずして感激の拍手の嵐。

◇渡辺大会事務局長の故郷で慌てたのが菅田総務部次長、財団理事を控えて連日徹夜の北川総務部長（兼財団事務局長、大会副委員長）の助けをこうは借りられず、びっしりつまった準備日程表をにらんで言葉少息。残日ガリ版を切りつづけて右腕に二センチも伸びたとは少し大げさ。

◇今大会で友愛山荘建設第二次計画が発表されたが、予定地になっている北海道は建設実現の意気もの凄く、十四名の代表全大幸上京させた。ところがこの面々、一斗缶につめた〝友愛せんべい〟一本づつをかついでの上京。早速会議場ロビーや宿舎で一建設費拠金――友愛せんべい一袋二〇円――の売店を開業。たちまちこれを売りつくして〝全国の皆さん有難う〟――

◇カレーライスは尾崎記念会館食堂の代表的一品料理、大会第一日目の昼食時に北川副委員長も低脳安価なれ。昨年青葉浪漫一ヵ月も入院した彼、ここのところ写真展、表彰・功労賞の新企画をすべて手がけて連日の徹夜であったからたまらない。本会誌の会勢報告を終つて遂にバッタリ――。常日頃胃を押えている彼を見ていた常任幹事やスタッフも、深夜の街へ医者を捜しに行くやら大騒ぎ。

▽それでも責任感の強いこの事務局長代行は九段会館を離れようとせず、大会が完全に終了した六日になって漸く かかりつけの病院えゆく有様。これで弱ったのが川手常任幹事、事務局長代行のその父代行、副委員長職務〝担当の第二第二分科委員会、あれこれ合切を押しつけられて目を白黒。

病床の北さんの恍元えきては、〝俺の代行はいないかなあ〟泣かせたカレーライス興開の一胸である。

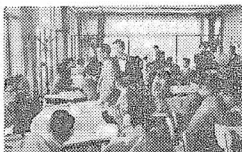
▽第一回全国大会以来、連続して出席という岡山の土井昭道さん、吉手の双葉北海道の宮川君と仲良く「功労賞」を受けて感無量。お互いに県連、道連を結成してきたベテランだけに感慨は寄る組織のことばかり。それにしても今回の大会の立派さには感心。

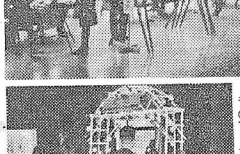
〝十周年の大会には会場を溢れるばかりに埋めようぜ〟には全く同感。

▽友愛山荘もいよいよ第二次建設にスタートすることになったが、先立つものは金。とはいえ募金に努力するほかないのだが、大会三日目本会誌後に行なった一建設資金カンパ」の成績は九四二六円と上々の部類。

病床でこの報告をきいた感激屋の北川財団事務局長、ウームとばかり目に涙。不退転の決意を固めていた。

【写真説明】
㊤北川大会副委員長を困らせたレストラン㊥尾崎会館玄関で販売する北海道の〝友愛せんべい〟と写真展示㊦大会参加者を喜ばせたバラのアーチ





中央日記

五・二　幹事会（午後四時、於九段会館）
三　全国大会
四　全国大会
五　全国大会、第一次友愛山荘建設計画完成記念・第八回全国大会記念パーティー
六　日本婦人友の会（午前一〇時・於鳩山邸）
七　早朝墓参会（午前六時半・於谷中墓地）
八　学生率仕国際議員会（午後一時・於鳩山邸）
九　青少年野外活動講習会（二二日まで・於国立中央青年の家）塚田勝敏、小川康浩（学生部）二名参加
一〇　日青協全国大会（一二日まで・於日青館）開会式に奥田幹事長出席
一一　青少年団体懇談会（午後一時半・於文部省）奥田幹事長出席
一二　国立中央青年の家塚文部局長会（午前一時・鳩山邸）
一三　都青協マラヤ派遣代表帰国報告会（午後六時・於鳩山邸）
一四　文京友愛婦人会大塚支部役員会（午前一時・鳩山邸）
一五　青少年関係団体懇談会（午後一時半・於総理官邸）
一五　青少年野外活動講習会（一二日まで・於国立中央青年の家）塚田勝敏、小川康浩（学生部）
一六　日本婦人友の会（午前一〇時・於鳩山邸）
一七　早朝墓参会（午前六時半・於谷中墓地）
一八　青年中央青年の家建設委員会（午後一時・於YMCA）奥田幹事長出席
一九　青少年野外活動講習会（午後六時・於鳩山邸）
二〇　日青協全国大会（一二日まで・於日青館）開会式に奥田幹事長出席
二一　柳沢相談役、高彩常幹欧州視察より帰国（羽田着）三時四五分
二二　第一回常任幹事会（午後六時・於鳩山邸）
二三　青少年団体懇談会（午後一時半・於文部省）奥田幹事長出席
二四　文京友愛婦人会大塚支部役員会（午前一時・鳩山邸）
二五　青少年関係団体懇談会（午後一時半・於総理官邸）

事務局連絡

◇第八回全国大会を通じて、各支部より強く要望された、事務局体制の整備については本部でも充分に検討を加え、万全の措置を講じている。

投句募集

新緑も眼にあまって、美しい初夏の空が身に迫ってくるようです。当季雑詠を募集します。

記

雑詠　一人五句以内
締切　六月五日
送り先　宮崎ハガキにて本部友愛俳句係

大会記念写真申込受付

第八回全国大会での数々の記念写真が出来ております。希望者は左記のように事務局迄

記

A組（五枚一組）二二〇円
B組（一〇枚一組）二二〇円

〆切り昭和三六年六月十日
申込手続き　現金または切手をそえて本会事務局写真係まで早めに申込んで下さい。発送は六月十五日。

事務局

投句

山川昇君（三重・桑名支部）談　伊勢湾台風の時は文字どおり全国各地から救援して頂いておれもしていないのに、功労賞を受けて感激しています。労苦に報いる意味でも組織と会活動をさらに強力に推進し全国の同志の期待に応えたいと思っています。

まずその第一段階として会員名簿の再点検をおこなうことにし、近日中に支連を通じて名簿の再提出を各支部に要請することになった。

◇同じく今大会を通じておこなわれた「国立中央青年の家」青年の像建設募金」は、各青年団体でも非常に力を注いでいるので、更に各支部での協力を期待する立場から、支連をもって募金の要請をする予定である。

エバーキャリーベッド

ビーエスプレンを使用の

折畳式携帯ベット

各学校・ユースホステル採用

会員割引

長さ　192cm
幅　76cm
高さ　23cm

お申込は

友愛青年同志会事務局へ

重量五キロ

1m×28cm

うちのくるま！プリンス！

ご家庭で…会社で…そう親しく呼ばれています

■これからの高級乗用車に要求される条件をすべてとり入れた　高性能への信頼感

■合理的な横一列4ランプを中心にした　美と気品にあふれるトップスタイルの魅力

そこで　プリンス・ニュースカイラインの愛用者の方々が　プライドを持って言われるのです

「うちの車は　プリンス！」

プリンス／4ランプ・70馬力

ニュースカイライン

新型・スタンダード乗用車

プリンス自動車販売株式会社

製造会社富士精密工業株式会社